

第2学年1・2組男子 保健体育科学習指導案

指導者 教諭 山脇 渉

1 日 時 令和元年11月11日(月) 第5校時

2 場 所 体育館アリーナ

3 単 元 球技 ネット型(バレーボール)

4 単元について

(1) 球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。ネット型のバレーボールは、ネットを境に相對したチームが、空中にあるボールをサーブ、パス、トス、スパイク、ブロック、レシーブなどの技術を用いて攻防を展開し、身体を操作してボールを空いている場所に返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うスポーツである。また、チーム型の運動でもあり、それぞれの個人技能の高まりが集団的技能の質的向上につながることから、生徒一人ひとりが得点に貢献していると実感できるスポーツでもある。

これまで小学校では、「ゲーム」と「ボール運動」で簡易化されたゲームでルールを工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てたりして攻防を展開できるような学習に取り組んでいる。中学校では、これらの学習を受けて、基本的な技能や仲間と連携した動きを發展させ、仲間との話し合いの場などを通して、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるなど、互いに協力し高め合う能力や、自分の考えを伝える能力を養うことにつながると思う。

(2) 本学級の生徒(1組男子16名、2組男子15名、計31名)は、全体的に明るく、活発な生徒が多い。事前に行ったバレーボールに関するアンケートでは、「見たことがある」と答える生徒が95%で、「やってみよう」と答える生徒が86%とバレーボールに対する興味関心は高い。しかし、「ボールが怖い」「痛そう」と答える生徒もいることから、恐怖感を取り除くために、ボールやルールを工夫して授業を展開していきたい。

(3) 本単元では、次の点に留意して支援を行いたい。

- ・全員がボールに関われるように、役割を意識させられる指導をする。
- ・生徒の実態から、ボールの扱いに関する個人練習を毎時間継続して行うことを通して、基本的な技能の向上と定着を図る。
- ・課題解決のために、仲間と教え合う能力や、自分の考えを伝える能力を養うために、個人で考える場や、仲間と話し合う場を活動の中に取り入れながら、授業を進めていく。

5 学習指導目標

- (1) ボールに多く触れることにより個人技能を高めラリーを続ける喜びを味わうことができる。
- (2) 話し合いの場を通して、課題に応じた解決方法を見つけ、互いに高め合うことができる。
- (3) 練習やゲームを通してルールを守り、安全に留意し、協力した活動ができる。

6 学習指導計画(全14時間)

- (1) オリエンテーション、チーム編成・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (2) アンダーハンドパス・オーバーハンドパス・・・・・・・・4時間
- (3) サービス・アタック・・・・・・・・・・・・・・・・4時間
- (4) フォーメーション・簡易ゲーム・・・・・・・・3時間(本時2/3)
- (5) リーグ戦・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

7 本時の学習計画

(1) 本時の目標

- ・仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の動きで攻撃を組み立てることができる。
- ・得点につなげるために、チームに合ったフォーメーションを考えることができる。
- ・互いに助け合い、学び合いながら課題を解決しようとするすることができる。

(2) 学習の流れ

学習内容	教師の指導と支援活動	形態
1 集合、あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、服装、体調を確認し、見学者がいる場合は指示を出す。 ・実際のルールに近づけるために、三段攻撃の練習として課題を設定した。 	全体
(課題1)「拾う、つなぐ、打つ」の動きで攻撃を組み立てよう。		
2 ウォーミングアップをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・けが防止のため、主運動で使う部位を意識させ、十分に体をほぐすように指示をする。 	グループ
(1) チームで準備運動		
(2) チーム別課題練習	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の場所や方法を指示する。 ・前時での課題を意識させ、チームで決めた練習を行わせる。 ・触球数を増やすことによって、ボールへの恐怖心を除いたり基本的なボールの操作を身につけさせたりする。 	グループ
<ul style="list-style-type: none"> ・円陣パス ・2人組で対人パス ・サーブレシーブ ・スパイク など		
3 ゲームをする。		
(1) キャッチゲームⅠをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にボールに向かっていけるよう、コートの中で4人の定位置とそれぞれの守備範囲を確認し、自分の役割を意識させる。 ・ファーストボールをキャッチして、「拾う、つなぐ、打つ」の一連の動きで攻撃を組み立てられるように意識させる。 	グループ
<ul style="list-style-type: none"> ・4分間のゲームをする。 		グループ
(2) ミーティングをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・データを取った生徒がメンバーに伝え、そのデータを元にホワイトボードと磁石を使い、作戦を立てさせる。 	グループ
(課題2) 得点につなげるためにはどのようなフォーメーションがよいのだろう。		
(3) キャッチゲームⅡをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで考えた作戦を意識させ取り組ませる。 ・チームの中でアドバイスの声や励ましの声など、チーム全員で盛り上がるように取り組ませる。 	全体
<ul style="list-style-type: none"> ・5分間のゲームをする。 		
4 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標が達成できたかチームで話し合い振り返らせる。 ・個人の学習カードの記入をさせる。 ・全体を見ての課題を伝え、次時につなげる。 	個人 グループ